

平成25年7月4日

平成24年度学校評価に関する評価委員会 報告書

文責 副校長 高橋 豊

1. 開催日 平成25年7月2日（火）
2. 開催場所 小学校校長室
3. 出席者 評価委員 5名 （1名欠席）
校長・副校長 （教頭欠席）
4. 平成24年度に小学校で実施した「自己評価」・「関係者評価」の分析結果に対する評価委員の意見（評価委員の同意が得られた意見を、ひとつにまとめました）

各項目の評価に対して、保護者・児童・学校関係者（自己）の3者からの意見には、ほぼ差異はないと見受けられ、その分析結果についても正しい見解が出されています。総合的に見て、当小学校に対する満足度は概ね高いと判断されます。また、相対的にみた場合にやや低い評価となっている「しつけやマナーの指導」「清掃、校内美化に取り組む指導」「学力を向上させる授業の実践」に対する今後の改善点も、適切であると考えます。

特に、継続的に小学校が改善努力を続けている「しつけやマナーの指導」については、評価以上の成果が出ていると感じています。「6年かけて自律する子どもを育て上げる」という考え方通り、先生方は学年が上がるにつれ、子どもへの接し方を厳しくしていきます。子どもも厳しくなっていくことを感じているようです。

高学年になるにつれ、児童の行儀が目に見えて向上していくと感じます。挨拶は徹底できていますので、やさしくて礼儀正しい子どもが育っているという印象を受けています。

以上